



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月7日

上場会社名 株式会社 フュートレック 上場取引所 東
 コード番号 2468 URL <https://www.fuetrek.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 明弘
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 秦 真一郎 TEL 06-4806-3112
 四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	536	△27.9	△224	—	△219	—	△278	—
2022年3月期第2四半期	743	—	71	—	75	—	57	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △296百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 52百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△29.81	—
2022年3月期第2四半期	6.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,508	2,381	62.7
2022年3月期	3,868	2,715	65.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,198百万円 2022年3月期 2,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,370	△13.9	△285	—	△290	—	△310	—	△33.13

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	9,504,200株	2022年3月期	9,504,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	146,460株	2022年3月期	146,460株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	9,357,740株	2022年3月期2Q	9,357,740株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波による感染の拡大も落ち着きを見せており、経済社会活動の制限が緩和され、景気は持ち直しの兆しがみられました。しかしながら、長引くウクライナ情勢等による世界的な資源価格の高騰や急激な円安の進行等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、音声認識事業とデジタルマーケティング事業（前期までのCRM事業分野）を中核事業とし、各事業の更なる強化に努めました。

音声認識事業におきましては、音声認識技術を利用したい企業や関連サービスを提供する企業が、当社の音声認識やその周辺技術をより簡単に利用できるような仕組みを整えるとともに、積極的な販売活動を展開いたしました。また、声による認証・識別の性能向上や、「音のAI検査・識別（異音検知技術）」の事業化に向けた取組みも進めました。

デジタルマーケティング事業におきましては、自社商品であるVisionaryをご利用いただいているお客様へのサポートや個別のカスタマイズにお応えしながら、新商品であるVisionary Cloudの追加機能開発及び次年度からの販売に向けた拡販準備に注力いたしました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における経営成績としましては、売上高は536百万円（前年同四半期比27.9%減）、営業損失は224百万円（前年同四半期は営業利益71百万円）、経常損失は219百万円（前年同四半期は経常利益75百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は278百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益57百万円）となりました。

前年同四半期と比較し、売上高は207百万円、営業利益は296百万円が減少いたしました。主な減少要因は、デジタルマーケティング事業の売上高が183百万円、営業利益が276百万円減少したことによるものであります。同事業においては、前年同四半期にはVisionary Cloudの大型案件の売上が計上されましたが、当第2四半期連結累計期間においては同様の大型案件がなかったことに加え、次年度からの拡販に備えたVisionary Cloudの研究開発投資を行ったことにより営業利益は大きく減少いたしました。

5月11日に公表しました当第2四半期連結累計期間の業績予想（売上高：520百万円、営業損失：275百万円、経常損失：280百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失：300百万円）は、前年同四半期のような大型案件がないことや、次年度からの拡販に備えてVisionary Cloudの追加機能開発に注力することをふまえて想定しておりましたため、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、ほぼ事前に想定した業績予想どおりの着地となりました。

セグメントごとの当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、次のとおりであります。

セグメントの名称	第22期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	第23期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	増減 (百万円)
音声認識事業	190	204	14
デジタルマーケティング事業	401	217	△183
映像制作事業	107	74	△32
その他事業	44	39	△5
売上高合計	743	536	△207

なお、当社は2022年7月27日に開示いたしました「報告セグメントの変更に関するお知らせ」に記載いたしましたとおり、第1四半期連結会計期間の期首から報告セグメントを従来の「ソフトウェア開発・ライセンス事業」「映像制作・メディア事業」及び「その他事業」の3区分から、「音声認識事業」「デジタルマーケティング事業」「映像制作事業」及び「その他事業」の4区分に変更いたしました。

このため、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を変更後のセグメントに組替えて記載し、セグメントごとの前年同期比等につきましても変更後の報告セグメント区分・名称により記載しております。

①音声認識事業

売上高は204百万円（前年同四半期比7.4%増）、営業損失は88百万円（前年同四半期は営業損失79百万円）となりました。

前第2四半期連結累計期間と比較し、売上高は主に受託業務に係る売上高が増加したことにより、増加いたしました。また、受託業務の外注費の割合が増加したことにより、営業損失が増加いたしました。

②デジタルマーケティング事業

売上高は217百万円（前年同四半期比45.8%減）、営業損失は133百万円（前年同四半期は営業利益142百万円）となりました。

前第2四半期連結累計期間と比較し、売上高は主にVisionary Cloudのライセンス提供に係る売上高が減少したことにより、減少いたしました。

前第2四半期連結累計期間では、Visionary Cloudの大型案件の売上が計上されましたが、当第2四半期連結累計期間においては、同様の大型案件の売上がなかったことに加え、次年度からの拡販に備えたVisionary Cloudの研究開発費の増加等により、営業損失が増加いたしました。

③映像制作事業

売上高は74百万円（前年同四半期比30.3%減）、営業損失は12百万円（前年同四半期は営業損失6百万円）となりました。

売上高の減少及び営業損失の増加は、2021年8月にメディアジャパンエージェンシー株式会社を連結の範囲から除外したことによるものであります。

④その他事業

売上高は39百万円（前年同四半期比11.5%減）、営業利益は9百万円（前年同四半期比33.5%減）となりました。連結子会社である、株式会社スーパーワンの売上高が減少したことによるものであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ360百万円減少し3,508百万円となりました。

総資産の内訳は、流動資産が2,937百万円（前連結会計年度末比229百万円減）、固定資産が570百万円（同130百万円減）であります。流動資産の主な変動要因は、現金及び預金の減少114百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少94百万円、流動資産のその他の減少21百万円によるものであり、固定資産の主な変動要因は、無形固定資産の減少69百万円によるものであります。

負債の部では、流動負債が1,043百万円（同23百万円減）、固定負債が83百万円（同2百万円減）であります。流動負債の主な変動要因は、買掛金の減少51百万円、短期借入金の増加100百万円、賞与引当金の増加21百万円、前受金の増加18百万円、流動負債のその他の減少118百万円であり、固定負債の主な変動要因は、長期借入金の減少2百万円によるものであります。

純資産の部では、利益剰余金の減少316百万円等により2,381百万円（同333百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年5月11日に公表いたしました連結業績予想を修正しておりません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,604,498	2,489,832
受取手形、売掛金及び契約資産	306,663	212,421
有価証券	200,000	200,000
その他	58,565	36,953
貸倒引当金	△1,831	△1,212
流動資産合計	3,167,896	2,937,995
固定資産		
有形固定資産	29,891	22,796
無形固定資産		
ソフトウェア	424,670	413,287
ソフトウェア仮勘定	59,277	782
無形固定資産合計	483,948	414,070
投資その他の資産		
投資有価証券	151,623	99,874
繰延税金資産	3,858	3,516
その他	31,220	29,968
投資その他の資産合計	186,702	133,358
固定資産合計	700,541	570,225
資産合計	3,868,438	3,508,221
負債の部		
流動負債		
買掛金	86,568	34,909
短期借入金	100,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	702,400	703,800
前受金	19,586	37,967
未払法人税等	4,452	2,226
賞与引当金	3,059	24,434
受注損失引当金	1,107	9,020
その他	150,408	31,584
流動負債合計	1,067,582	1,043,942
固定負債		
長期借入金	85,800	83,200
固定負債合計	85,800	83,200
負債合計	1,153,382	1,127,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,554,194	1,554,194
利益剰余金	946,222	629,808
自己株式	△70,014	△70,014
株主資本合計	2,530,401	2,213,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,393	△15,660
その他の包括利益累計額合計	△8,393	△15,660
非支配株主持分	193,047	182,751
純資産合計	2,715,055	2,381,078
負債純資産合計	3,868,438	3,508,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	743,751	536,393
売上原価	401,610	449,466
売上総利益	342,140	86,926
販売費及び一般管理費	270,348	311,673
営業利益又は営業損失(△)	71,792	△224,746
営業外収益		
受取利息	43	34
受取配当金	681	780
投資事業組合運用益	1,620	7,391
為替差益	71	—
助成金収入	—	1,000
その他	4,186	202
営業外収益合計	6,603	9,408
営業外費用		
支払利息	2,847	2,929
為替差損	—	879
営業外費用合計	2,847	3,808
経常利益又は経常損失(△)	75,548	△219,146
特別利益		
関係会社株式売却益	4,989	—
特別利益合計	4,989	—
特別損失		
固定資産除却損	3,832	—
投資有価証券評価損	—	30,872
減損損失	—	36,689
特別損失合計	3,832	67,562
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	76,704	△286,709
法人税、住民税及び事業税	19,648	2,226
法人税等調整額	△1,245	342
法人税等合計	18,403	2,568
四半期純利益又は四半期純損失(△)	58,301	△289,278
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	332	△10,295
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	57,969	△278,982

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	58,301	△289,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,259	△7,267
その他の包括利益合計	△6,259	△7,267
四半期包括利益	52,042	△296,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,709	△286,249
非支配株主に係る四半期包括利益	332	△10,295

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、投資信託財産が金融商品である投資信託で、解約又は買戻し請求に関して市場参加者からリスクの対価を求められるほどの重要な制限がないものは、基準価格を時価としております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はございません。